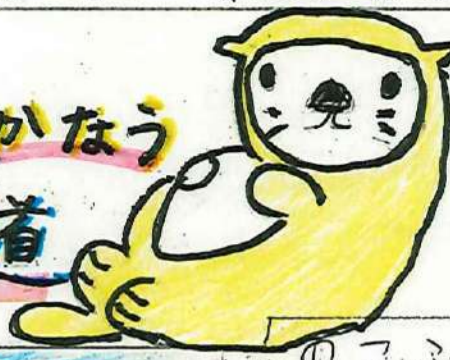




おもてなしがなう 西武鉄道



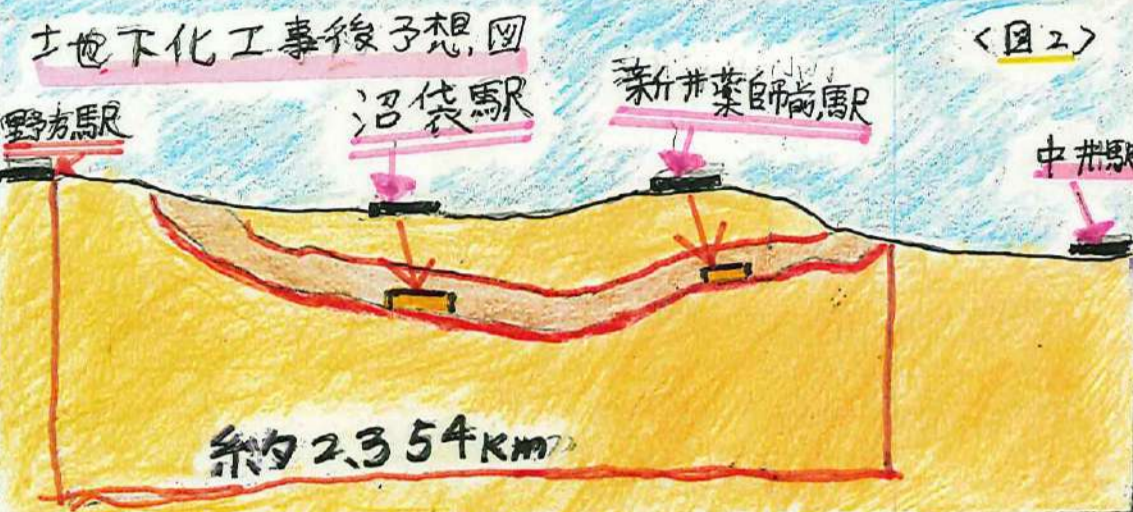
西武線マスコット
レッコ



涼季の西武線新聞

西武鉄道は二〇二二年に設立百周年をおかえりました。僕は昔から西武線が大好きなので小さいころからの西武線で体験した事をまとめてみました。

僕と西武線とのつきあいは長い。その中でも西武線は少しづつ変わってきた。例えば、小学校に入るとラビコが登場した。そしてこれからも西武線は変わっていくようだが、現在野方駅から中井駅の手前まで地下鉄化が進められている。沼袋駅と新井薬師前駅も地下の駅に変わることになる。地下金化するにより朝と夜のふみやり前の車のじゃうたいを解消できることになる。このように西武線は利用車だけでなく周辺住民の人たちにもニーズに応えるために少しずつ変化してきている。そういう所が僕が西武線を好きなの理由だ。



僕が小さい時に、武蔵境駅で降りてきて、やさしく話しかけてくれた。武蔵境駅で降りてきて、やさしく話しかけてくれた。武蔵境駅で降りてきて、やさしく話しかけてくれた。

僕を笑顔にしてくれた

狭山線、大塚、利根川、ラビコ

特徴

- ①窓の大きさ
- ②トビが飛べない
- ③座席が正面からよく見える。

みんなを笑顔に！西武鉄道の歴史

西武旅おしストラン 52席の至福

僕は一年生の時に旅するバスに乗った。たくさんの人々が笑顔で僕を乗せた。笑顔で僕を乗せた。笑顔で僕を乗せた。

1912年に西武線の前身である武蔵野鉄道が設立され、1915年に開業した。これが現在の池袋線のルースとなっている。その後、新宿線系統の路線を営業していた。(旧西武金失道と合併し、現在にいたっている。)

運用中の車両紹介

楽しい施設

おススメの湯

秩父まで行って、お風呂に入る。おススメは、スーパージェットバス。

編集後記

自分と西武線とのつきあいの思い出を整理することになりました。その過程でいろいろおもしろい出来事がありました。おもしろい出来事がありました。おもしろい出来事がありました。

6000系 3000系 9000系